

3. 全体計画と今年度の位置づけ

本調査は、3年間で調査を予定しており、年度毎に取得データ等に差が生じないようにする必要あることから、早生樹の植栽・保育に関するガイドライン作成までの工程について、3年間の全体計画を作成した（図2）。

3年間の全体計画の最終成果は、早生樹利用による森林整備のためのガイドラインを作成するものである。このため、可能な限り早生樹の種苗・施業・保育・材質等に関する情報を集約する。

1年目	2年目	3年目
【早生樹の植栽技術に関する情報の収集・分析等】 施業履歴確認・現地調査、文献調査等 現地調査（平成29年度：10箇所、平成30年度：数未定）		
【実証的植栽及び生育状況等調査】 植栽実証試験 （地拵え・植栽・現地調査、（平成29年度：5箇所、平成30年度：数未定））		
	【実証的植栽及び生育状況等調査】 植栽実証試験 （下刈り・現地調査）	
【早生樹の種苗生産に関する実態調査】 全国を対象とした直近5年以上の状況調査	【早生樹に関する実態調査】 ニーズや収益性に関する状況調査	
【早生樹の植栽・保育に関するガイドラインの作成に向けた検討】		ガイドラインの作成

図2 3年間の全体計画